

# 株デイトレードメンタル投資法

## 初級編

### テクニカル指標の見方

- 前日終値ライン
- 始値ライン
- 直近高値、安値
- 5日線
- 25日線
- スローストキャスティクス
- R S I
- 上昇パターン
- 下降パターン
- もちあいパターン
- ローソク足の組み合わせ

**注＝この章は常に手元に置いて辞書としても用いていきます。**

☆この章で学ぶ事

株式投資の世界には専門家と投資家が存在しています。

専門家とはアナリストやチャートリストの資格を持った人を指し、投資家とは機関投資家や個人投資家を指します。

株式投資の勉強で、まるで専門家を目指してるような勉強の仕方をされてる人が多く見受けられます。

又、株式投資の詳しい知識がなければ利益を出す事ができないと錯覚されてる人が多いのにはビックリします。

もちろん知識に長けた方が好ましいですが、株式投資の収益には余り影響しません。

むしろ、生半可の知識が邪魔をする場合もあります。

株式投資の学習とは、自分の投資スタンスや、投資法に必要最低限の知識やテクニックが最優先の学習目標で有り、その他は余裕の時間にコツコツと広げて行くのが正道です。

### 前日終値ライン

これより以降のチャート画像は5分足チャートになります。



矢印「前日終値」が陰線になってますから、ローソクの下方が終値になります。

逆に陽線だったら、ローソクの上が終値になります。

ここでは、株価が上から下落して、前日終値ラインを割り込んだ後、反転して上に抜けています。

上昇の始まりの可能性がありますから、他の指標と整合性を図って下さい。

このチャートの場合、近くに25日線が在りますから、25日線で判断します。

前日終値ラインは、あくまで可能性の確認に留めて、単独で買いサインの判断には  
使いません。

### ※ 始値ライン

「メンタル投資法」では、非常に重要な指標になります。

株価がこのラインの上下に在ることによって、ローソク足が、陰線か、陽線に分かれます。

このラインの上にいるときは、上昇力が強く、逆に下に在る時は弱い事になります。

言い換えれば、このラインの上にいる銘柄だけをターゲットにしたら、確率は群と高まります。

このラインは抵抗ラインとしてサインに用いられます。



ここは始のローソクが陰線ですから、ローソクの上が**始値**になります。

矢印2が始値ラインを上を抜けたので、**買いサイン**点灯。

※直近高値、安値



このチャートは、後から出てくる下降パターンの形です。

矢印1は矢印2に対して、直近高値となります。

株価のトレンドが下向きから上向きに転換した支点が安値、上向きから下向きに転換した支点を高値と言います。

ここでは矢印2の高値は、直近高値矢印1のラインを突破できていません。

もし抜けていたら、株価の流れは上昇に転じた可能性が高まります。

矢印3と矢印4は直近安値の関係にあります。

矢印4の安値は、直近安値の矢印3迄下げていません。

どうやら底固い動きに変化して来ています。

底固いけど、上値を追う力が不足している。。。。

このように直近高値、安値は株価の方向性を図るのに用いていきます。

単独での買いサインの判断には使いません。

## ⌘ 5日線

ローソク足の5本を平均した株価ラインです。



画像は、上部はローソクチャート、中部はRSI、下部はスローストキャスティクスと、3つの画面に分かれています。

5日線はローソクに沿った線になります。

後ほど詳しく解説が出てきますが、下部のスローストキャスティクスに、3つの買いサインが出ています。(矢印1, 2, 3.)

この時、5日線が反転するのを確認します。

上部の矢印1と矢印3がそれに当たります。

言い換えれば、ローソクの組み合わせを覚えなくても、5日線を使うことで、組み合わせの代用になります。

## 25日線

ローソク足の25本を平均した株価ラインです。

このラインを語らずして、チャートは存在しません。

市場メンタル3つのパターンも、このラインの形で判断します。

始値ラインと同様で、株価がこのラインの上に在ったら、上昇力が強く、逆は弱くなります。

又、このラインを下に割ったらパターンの変化として捉えます。

特に上昇パターンでは有効な抵抗ラインとなります。



上部のチャートに矢印が3本ありますが、最初の2本では株価の下落がブロックされています。

ここが買いサインの点灯になります。

もちろん5日線にも注意します。

最後の矢印で、25日線を割り込みました。

この時点で上昇パターンは次のパターンに移行します。

もう一つの買いサインは、株価が下方から25日線を突き抜けた時、買いサイン点灯となります。

市場開始最初のローソクから下落が始まり、25日線を割ってから反発して突き抜けています。  
(細い矢印)

まとめ

株価が25日線で下げ止まって反発したら買いサイン。

上昇パターンで株価が下から25日線を突き抜けたら**買いサイン**。

## RSI

過去一定期間の上げ幅(前日比)の合計を、同じ期間の上げ幅の合計と下げ幅の合計(いずれも絶対値)を足した数字で割って、100を掛けたもので、0%から100%の範囲で推移する。

株式用語辞典では上記のようになってますが、ようするに、過去の一定期間の上げ幅と下げ幅の偏差値みたいなものと考えて下さい。

現在の株価の位置の判断は？30%ライン以下は売られすぎの底値と判断します。

ポイントは、RSIのラインが30%付近で上向きに反転したら買いサイン、30%以下に位置する場合ここを上向きに抜けたら買いサイン。

このRSIは全てのパターンで用いますが、中々30%ラインまで下げませんので、多く使われるのは、下降パターンになります。

中心線の50%ラインは25日線と同じ働きをします。

50%ラインを用いる時は、25日線の参考程度に考えて下さい。



上記の画像がRSIになります。

30%、50%、70%のラインを確認して下さい。

下降パターンでは、50%以下に収まっています。

上昇パターンでは、50%以上の位置になります。

矢印1の買いサインは30%ラインを突き抜けてから、矢印2の買いサインは、30%ライン付近で反転してから買いサインとなります。

## ※ スローストキャスティクス

ストキャスティクスは、過去9日間における高値、安値に対して、当日終値がどのような位置にあるのかを数値化することによって、価格の推移傾向を判断しようとするもので、0%から100%の範囲で推移する。

株式用語辞典では上記のようになってますが、RSIよりか解りやすく、過去の一定期間の高値と安値の中で、現在株価はどこに位置してるか、と単純に考えて下さい。

通常、%Kと%Dの2本のラインで表示されますがメンタル投資法ではザラ場で迷いを防ぐためシンプルに一本のラインにカスタマイズしています。

このスローストも全てのパターンに用いますが、多く用いられるのがもちあいパターンになります。

ポイントは、ラインが20%付近で上向きに反転したら買いサイン、20%以下に位置する場合ここを上向きに抜けたら買いサイン。

煩雑に買いサインが出る代わりに、ダマシが多く、5日線との整合性が必要とします。

なお、20%が売られ過ぎの底値と判断します。

## 上昇パターンでのスローストキャスティクス



上記は上昇パターンでのスローストキャスティクスになります。

矢印1と矢印2の買いサインは、20%のラインに届いていません。

上昇パターンでは、中々20%まで届きませんから、このパターンに限ってのみ、多少届かなくても買いサインになります。

その他のパターンは、きっちり20%以下ですから、注意して下さい。

# 下降パターンのスローストキャスティクス



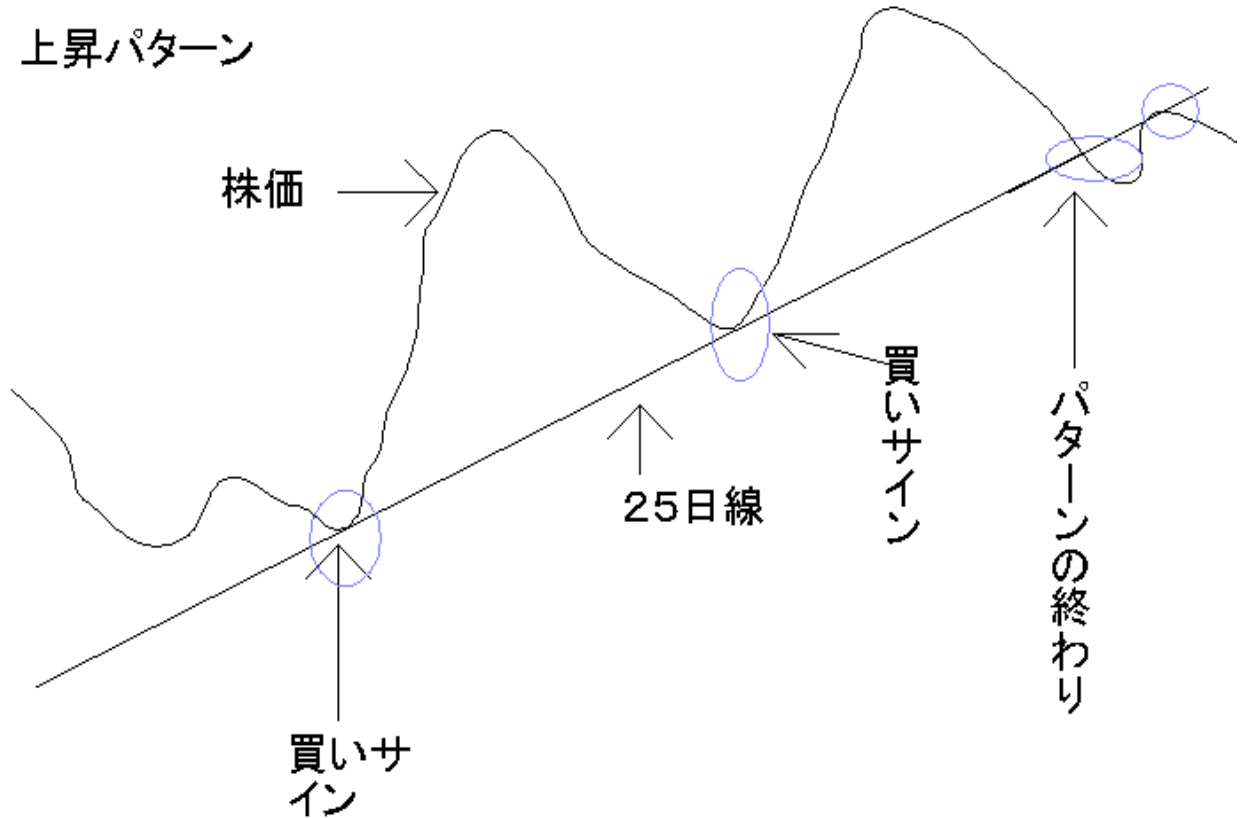
下降パターンのスローストキャスティクスです。

このパターンでは買いサインにダマシが多くあります。

5日線の確認を必要とします。

スローストキャスティクスはもちあいパターンで多く使われます。

## 上昇パターン



上昇パターンの特徴は、通常25日線が角度を持って上方向に推移します。

必ず25日線上に株価が在る状態で、直近安値を切り上げていきます。

右端のように、25日線を割り込むと、上昇パターンは終了します。

上から株価が下落して来ても、25日線でブロックされ、反発します。

ここで使用されるテクニカル指標と買いサインは？

### 25日線

上から株価が下落してきて、25日線で反発したら買いサイン。

株価が下から25日線を突き抜けて来たら、上昇初期の可能性があり、他の指標との整合性の上で買いサイン。

### 始値

上から株価が下落してきて、始値で反発したら買いサイン。

株価が下から始値を突き抜けて来て、かつ25日線上にあったら、他の指標との整合性の上で買いサイン。

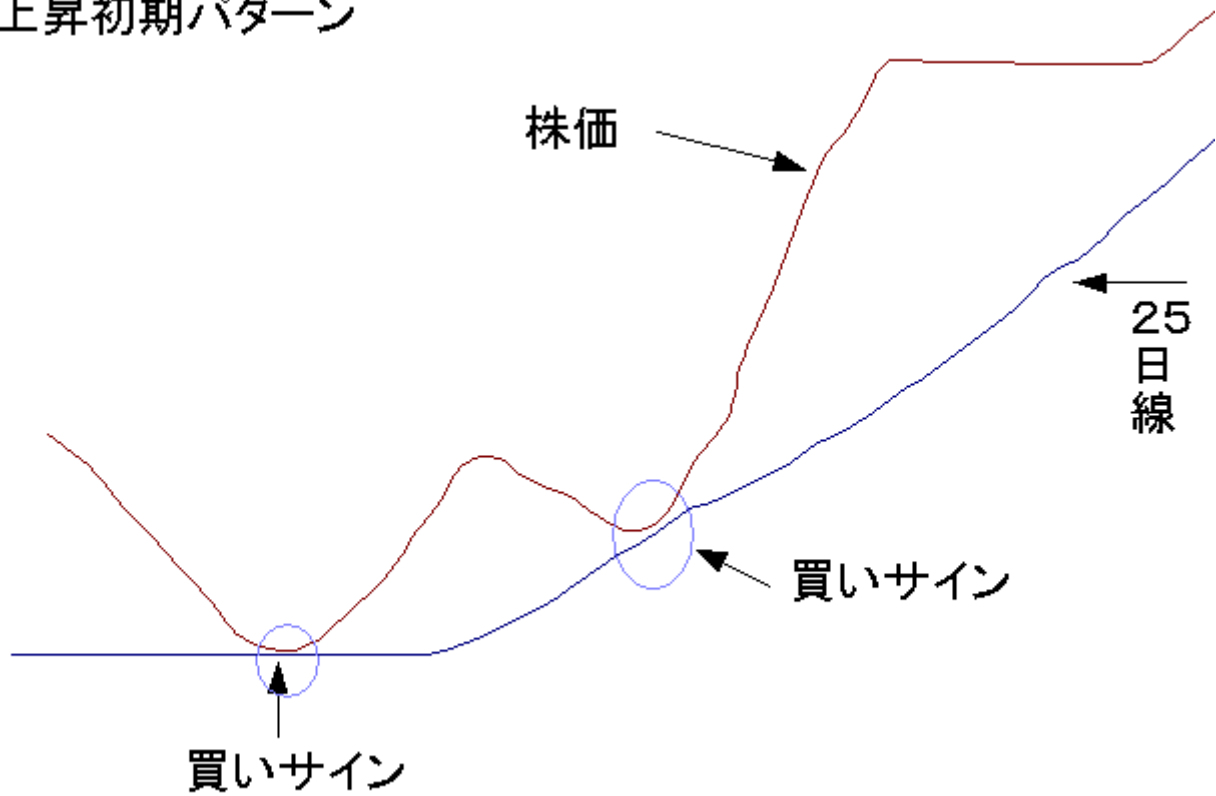
## RSI

30%付近で反発したら買いサイン。(中々30%まで下げないのでその付近でも可)

## スローストキャスティクス

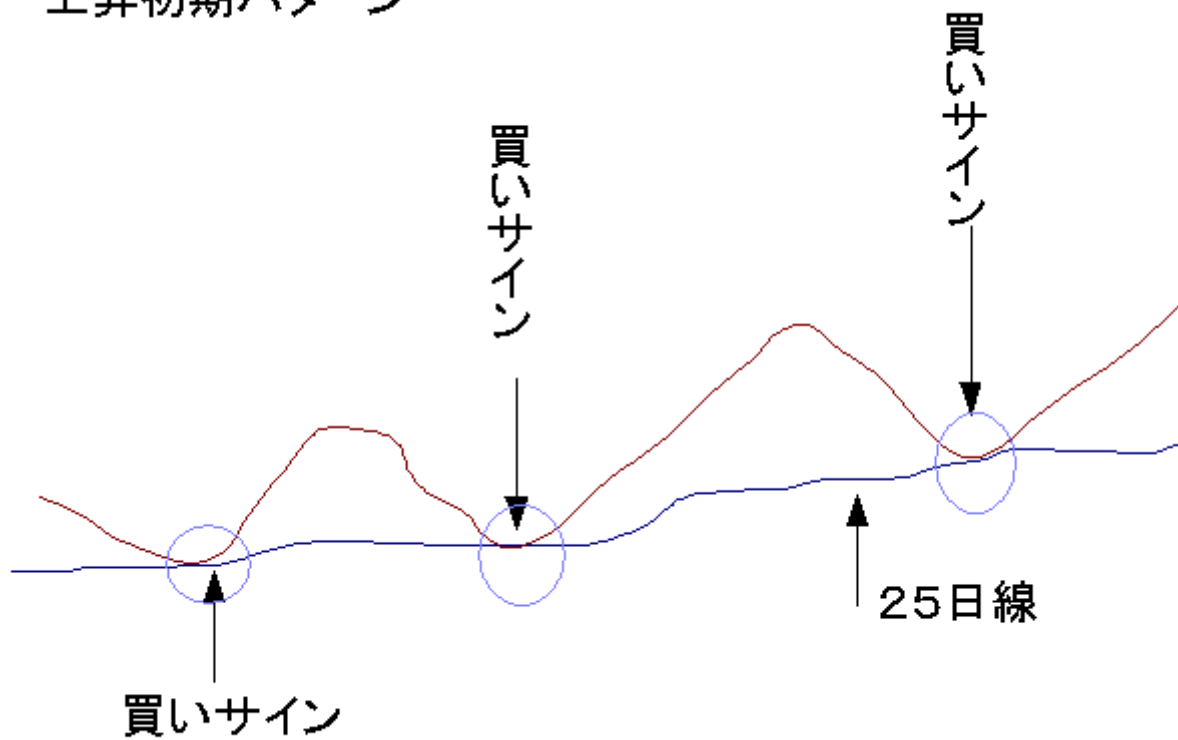
20%付近で反発したら買いサイン。(中々20%まで下げないのでその付近でも可)

## 上昇初期パターン



左端の部分で25日線が水平になって、もちあいパターンの形ですが、株価は25日線でブロックされてます。このように25日線が機能してる時は、上昇パターンの初期に当たります。

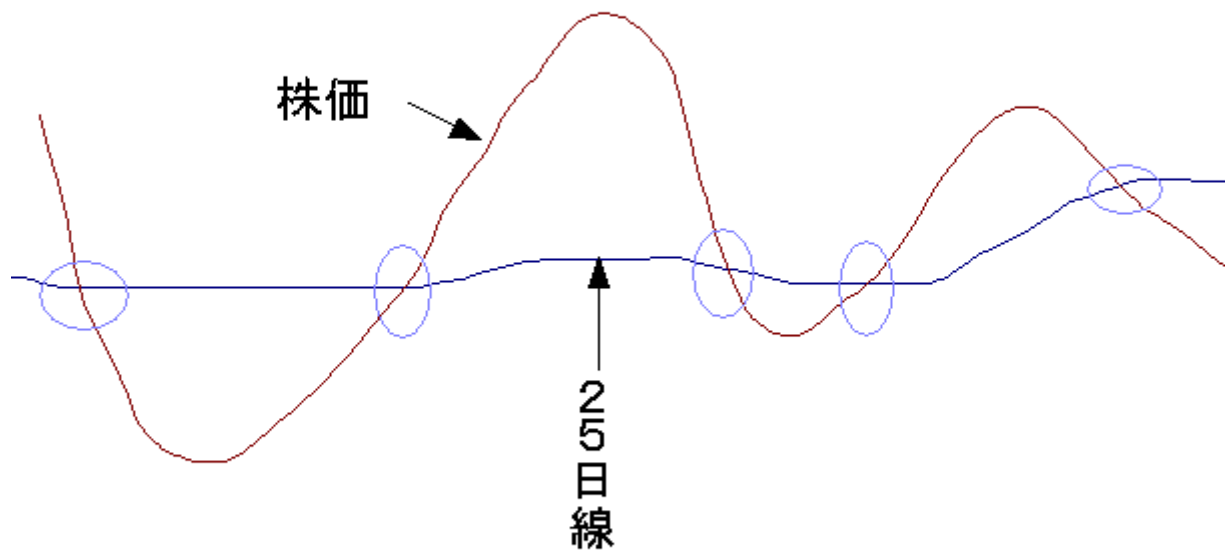
## 上昇初期パターン



25日線はほぼ水平に近い状態ですが、株価は25日線でブロックされ、しっかり機能しています。

極々ゆるやかな上昇初期のパターンとなります。

## もちあいパターン



もちあいパターンとは、売り方と買い方が均衡した状態をいいます。

いつ、上昇パターンに転じるか、下降パターンに転じるか不安定な状態とも言えます。

特徴は、25日線が機能しません。

25日線が機能し始めると、次のパターンへの移行となりますので注意が必要です。

買いサインに用いる指標は？

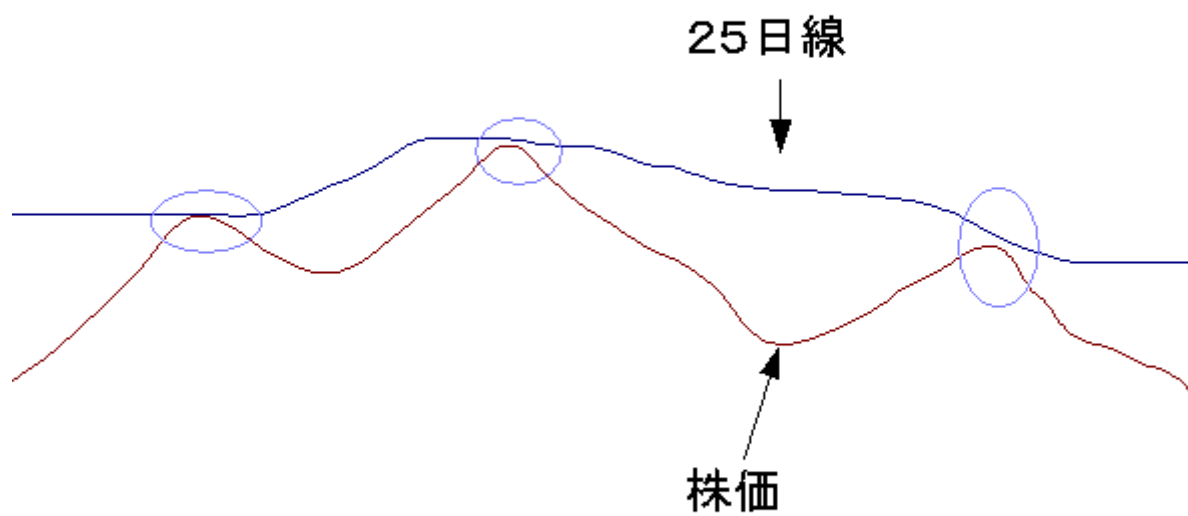
**スローストキャスティクス**

20%以下で反発したら、買いサイン。

**RSI**

30%以下で反発したら、買いサイン。

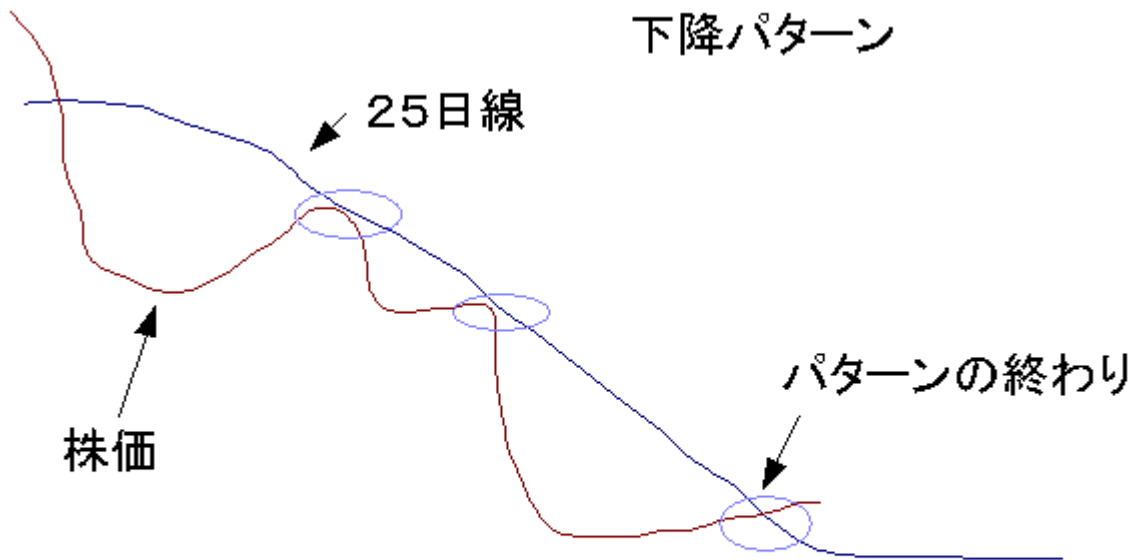
## 下降初期パターン



一見もちあいばたーんに見えますが、25日線が機能しています。

下降パターンの株価は、常に25日線の下方にあります。

## 下降パターン



この形が通常の下降パターンになります。

特徴は、株価は常に25日線の下方に位置し、段々と高値が切り下がって来ます。

基本的に、空売り専用のパターンとなります。

買いで入る時は、25日線の角度が、水平に変化する所を狙います。

又は、5日線が急角度で上向きに変化したら買いサインになります。

☆買いサインのテクニカル指標は？ ↓

始値ライン

株価が上から下落し、始値ラインで反発したら買いサイン。

株価が下方から始値ラインを突き抜けたら、他の指標との整合性を見て買いサイン。

### スローストキャスティクス

20%以下で反発したら買いサイン、ただしサインにダマシが多く、5日線や、ローソクの組み合わせの判断が必要。

### RSI

下降パターンで多く用いられる指標。

30%以下で反発したら、買いサイン。ただし下げのきつい時はダマシに注意。

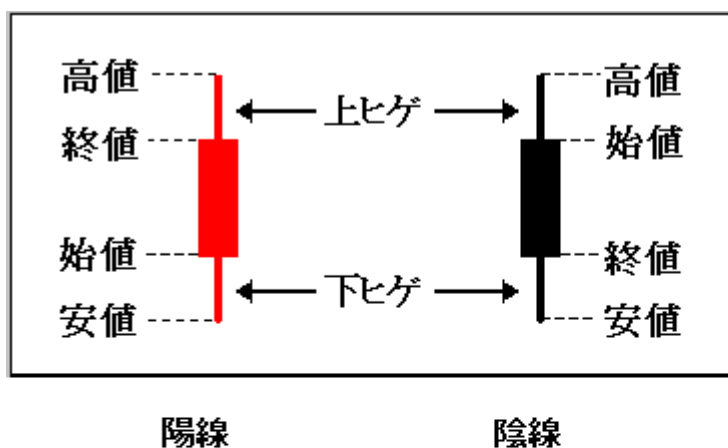
### まとめ

売り優勢のパターンです。

各指標に買いサインが出ても、ダマシになるケースが多発します。

ローソク足が、5日線が反発するのを確認します。

### ローソク足の組み合わせ



5分足

上の図は5分足の陽線と陰線のローソク足を表示しています。

5分足とはローソク1本が5分で完結し、10分で2本、15分で3本と作成されていきます。

**陽線と陰線の始値と終値の違いに注意して下さい。**

陽線は始値から上昇して上の方で終わります。

陰線は始値から下落して下方で終わります。

上ヒゲと下ヒゲはローソクが完結するまでの5分間の中の動きを表わします。

ここのポイントは、上ヒゲは売りが強く、下ヒゲは買いが強いと覚えておきましょう、ヒゲの長さを強さの判断にします。

**★ローソクの学習は時間を掛けてジックリ行きましょう、メンタル投資法ではローソクの変わりに5日線を重要とします。**

ローソク足													
呼び名	大陽線	下影陽線	下影陰線	小陽線	寄り同時線	小陰線	上影陽線	上影陰線	大陰線				
ローソク足													
あだ名	陽の丸坊主	陽の寄付坊主	陽の大引坊主	陰の寄付坊主	陰の大引坊主	陰の丸坊主	コマ・陽の極線	コマ・陰の極線	トンボ	トンボ	トウバ・塔場	足長同時	カラクサ・たぐり線
線の傾向	完全強気線	強気線・上値暗示	強気線・上値暗示	弱気線・下値暗示	弱気線・下値暗示	完全弱気線	迷い	迷い	転換期	転換期	保合か転換か？	攻防の分岐か？	上位位置に出現は売り 下位置に出現は買い

青い枠は重要です。

上の図は時間を掛けて、ボツボツ覚えて下さい、慌てることはありません。

以下の図は、ローソクを組み合わせた大事な形です。

優先して覚えて下さい。

覚える方法は、後から解説される検証とイメージトレーニングで、実際のロー

ソクチャートを見ながら習得して下さい。

机上の学習では役に立ちません。

検証しながら学習します。

何十回も、何十回も検証を繰り返して下さい。

多ければ多いほど、血になり肉となります。

	<p>安値更新が続いた後、急反発のC。その後、Bが出現するもCの安値には届かない。次に強気の線が出現すれば絶好の買い場。</p> <p>【ポイント】 Cが長い下影を持ち、Bが短い陰線であればなお良い。</p>		<p>続落の後、底が入り、続伸を見せた時は絶好の買い場。下記に説明のある「酒田五法」の『三兵』の一つである。</p> <p>【ポイント】 週足チャートにおいて、安値圏での出現は大幅上昇が期待できる。</p>
	<p>下げ相場が安値圏で下げ祭り、緩やかな底を形成、当然出来高も減少する。その後、陽線の出現をきっかけに買い場となるケースが多い。</p> <p>【ポイント】 下げきった安値圏での出現に限る。中段での出現は一段安もある。</p>		<p>下落の途中に大きな窓を開ける下落、この時の出来高は大幅増加。その後、出来高減少に伴い、窓も小さくなり始めると、下落は終わる。</p> <p>【ポイント】 安値圏での出現に限る。相場の窓はいつかは埋まるもの。</p>
	<p>相場が上昇に転じた際に出るケースが多い。Aの後、BがAの引け値より、高く寄り付いて、かぶせる形となる。CはBをかぶせる。</p> <p>【ポイント】 BとCはAよりも短い線でAの上部に位置するのが良い。</p>		<p>Aは利食い、BとCは下げを警戒した売りと思われる。A、B、Cはそれぞれ大陽線の上部がそれ以上に位置しなければならない。</p> <p>【ポイント】 A、B、Cを一本につなげても、必ず大陽線よりも短くなること。</p>

	<p>安値圏で出現すると絶好の買い場となるケースが多く見られる。ただ、続落場面の中段にも出やすいので要注意！！</p> <p>【ポイント】 BがAの中心値より上部に引けること。</p>		<p>続落調の相場がA・Bの陰線によってさらに下落基調を強めた。しかし、寄り同時線の出現によって流れが変わるケースが多い。</p> <p>【ポイント】 A・Bに下影があると上昇力が強く、Cにも下影があるとなお良い。</p>
	<p>続落した後の安値圏での出現は、下げ止まりとなるケースが多く、上昇の始まりと見る。</p> <p>【ポイント】 陽線の引け値が陰線の寄り値より大きく上抜けているとなお良い。</p>		<p>続落し、安値圏でAがCに食い込んでCの中心値以上の所で引けると強気。その後、Bが出現したら完全強気となるケースが多い。</p> <p>【ポイント】 あくまでAの引け値が、Cの中心値以上となること。</p>
	<p>高値圏での出現は売り線であり、あくまでも続落して安値圏での出現に限る。A・Bに下影が付くと底固く推移するケースが多い。</p> <p>【ポイント】 Aに短いBが孕むのが理想的である。</p>		<p>続落中に、陰線が短くなることは下落の弱まり。Bは長い陰線であるが、出来高が少なければ売り圧力が弱まっている証拠である。</p> <p>【ポイント】 AとBの下値があまり開かない方が理想的である。</p>

	<p><b>大陽線</b>の上方から短い陰線と陽線が交互に出現。結局、上昇した分を消失する。たった1日の上昇を消滅するのに5日もかかる。底固いと考える。</p> <p>【ポイント】 この後、下方からAとBを包み上げる陽線が出現すれば完全な強気。</p>		<p>Aで強気と思わせたものの、その後は利食い売りや新規売りから上げ渋る。ところが、Bの出現によって弱気モードを払い、再び強気となる。</p> <p>【ポイント】 AとBを比較して、Bの方に上伸力を感じるものが好ましい。</p>
	<p>上昇ムードが強まる中、Cの陰線が入る。よく「タスキがかかる」という言い方がされる。Cは修正安となるケースが多い。</p> <p>【ポイント】 AとBをつなげて一本の陽線にする。その陽線とCを比較してみる。</p>		<p>続落調の中、Bが出現。単なる利食いかと思っただが、Cの出現によって強気に転換する。安値圏に出現した場合のみが買い場となる。</p> <p>【ポイント】 CがBを下から上抜くようであればなお良い。</p>
	<p>Aの後、窓を開けて長い陰線B。上昇途中に出るケースが多いため、買い方はヒヤリとするが、CがBの孕みであれば買い場となる。</p> <p>【ポイント】 CがBのどの位置に出るかが重要。上部に出るほど強気である。</p>		<p>Aは下に向かいたいし、Bは上に向かいたい。しかし、この場合は、Aを踏み台としてBが上昇に向かう。週足チャートで出現は高確率。</p> <p>【ポイント】 上影や下影がないことが特徴。影があると全く別の動きになってしまう。</p>
	<p>下落調の相場で、陰線が続くも、終盤の反発で下影を引く。底固さを意味する。週足チャートの安値圏で出現したら翌週転換する可能性が高い。</p> <p>【ポイント】 下げてきた相場で陰線が続く中、下影を持つ寄り同時線ならなお良い。</p>		<p>上昇ムードの中、Aの出現で上昇に疑問を持つが、下影を引いた陽線Bの出現によって再度上昇基調を強める。Aの後に何が来るかで変わる。</p> <p>【ポイント】 Bの引けがどこまで上昇するか。上に行けば行く程強気。</p>

これらのローソクパターンを全部覚えなくても、利益は出ます。

しかし、マスターしたらその貢献は計りしれません。

数にして12ケの形ですが、**丸の印**は覚えましょう。

株式投資で生計を立てるとは、ビジネスに他なりません。

必ず検証の中で習得して下さい。

くどいようですが、机上の学習では役に立ちません。

